

# 奈良県みんなでののしむ大芸術祭 令和4年度実施結果及び令和5年度実施方針

## (目次)

- |   |                    |     |
|---|--------------------|-----|
| ■ | ～実施方針概要～           | P 1 |
| ■ | ～主なイベントカレンダー～      | P 2 |
| ■ | ～主なイベント等 実施方針～     | P 3 |
| ■ | ～障がい者関連イベント 実施方針～  | P 4 |
| ■ | ～国庫補助金活用予定事業 実施方針～ | P 5 |
| ■ | ～広報実施方針～           | P 6 |

実施方針概要

障がいの有無や年齢などにかかわらず、「みんな」が参加し「たのしむ」ことのできる芸術祭となるよう推進していく（令和3年度から奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭を一本化して実施）

項目

令和4年度 実施結果・課題

●キーワード

- ・「一緒に」芸術文化を楽しむをキーワードに、出演者も来場者も、障がいの有無や年齢にかかわらず楽しむことができるイベントとして打ち出した。

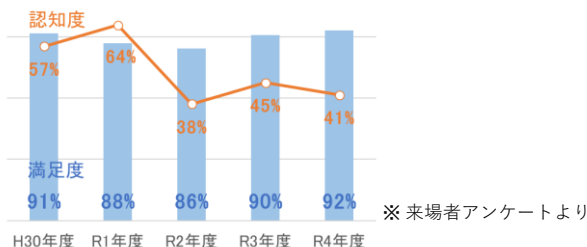
●開催実績

- ・計418のイベント・催事において、約50万人の来場者数があり、多くの方々に芸術祭を楽しんでいただくことができた。

	主催イベント	登録イベント	合計
イベント・催事数(件)	129	289	418
来場者数(人、回)	179,816 ※うち動画6,006	312,049 ※うち動画3,355	491,865 ※うち動画9,361

●満足度及び認知度

- ・来場者のアンケート結果を元に集計したイベントの満足度は過去5年で最高(92%)だが、一方で、認知度は昨年度より低下(4ポイント低下)→課題となっていた若年層の集客が若者向けイベントの実施などによって成果をあげたことで、みんな芸を知らなかった層が新たに多数参加したためと考えられる。



実施方針

令和5年度 実施方針概要

●コンセプト（案）の策定

- ・みんなに参加し芸術文化を楽しむため、コンセプト（案）を策定
  - 1) 参加する人の多様性 #わたしの芸術祭  
障がい有無や年齢にかかわらず「みんな（わたし）」が参加できる
  - 2) 参加方法の多様性 #やってみた  
出演だけでなく観覧だけでも参加。参加の形を問わず「みんな」が気軽に参加できる。
  - 3) イベント内容の多様性 #418イベント  
県内全域で3ヶ月間にわたって開催。多くのイベント数があるため「みんな」が楽しめるイベントが必ず見つかる。

- ・コンセプトを伝えるための冊子の作成



NEW!!

●認知度アップのための方策

- ・四季を通じて開催となるムジークフェストなら2023と広報連携
- ・他イベントとの連携実施（メインイベントである「みんな芸フェスティバル」を「平城京天平祭・秋」と連携して平城宮跡歴史公園で実施）

	みんな芸	ムジークフェストなら	平城京天平祭
認知度	19.8% ※R4県民アンケート結果	41.8% ※R4県民アンケート結果	59.7% ※R2県民アンケート結果

# 「令和5年度みんな芸」9-11月開催計画

## ■主なイベント・公演カレンダー（案）







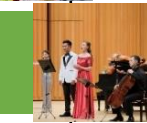

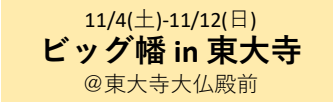


凡例

主なイベント等@会場名




障がい者関連イベント@会場名
















国庫補助金活用予定事業（採択された場合）


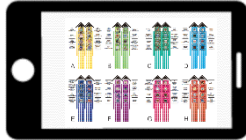
調整中

	9月	10月 (10日間)	11月
【開催イベント】	<p>9/2(土)-3(日) 県民きらめきステージ @イオンモール大和郡山</p> 	<p>9-10月 児童養護施設向けワークショップ @未定</p> 	<p>11/3(木・祝) まほろばあいのわコンサート @DMG MORI やまと郡山城ホール</p> 
	<p>9/9(土)-10(日) 県民きらめきステージ @イオンモール橿原</p> 	<p>10/21(土),22(日) プライベート美術館 @県内各地</p> 	<p>11月 ゴスペル&amp;ビッグバンドコンサート @橿原文化会館</p> 
	<p>付帯事業 9/27(水) 国際音楽交歓コンサート @橿原文化会館</p> 	<p>10/21(土),22(日) みんな芸フェスティバル @平城宮跡歴史公園</p> <p>平城京天平祭・秋連携</p> 	<p>11/4(土)-11/12(日) ビッグ幡 in 東大寺 @東大寺大仏殿前</p> 
	<p>9-10月 ドライブインシアター等 映画イベント</p> 	<p>9 - 11 月 ビッグ幡 in 薬師寺 (仮称) @薬師寺</p> <p>NEW!!</p>	<p>どこでもビッグ幡@WEB上</p> <p>NEW!!</p>
		<p>9 - 11 月 みんな芸ピアノ @県内各地 (3カ所以上)</p> 	<p>登録イベント (音楽分野についてはミュージックフェストなら2023で実施)</p> <p>NEW!!</p>




	<b>令和4年度</b>	<b>令和5年度</b>
<b>全体</b>	全イベントにおいて全ての方を対象にしたイベント展開	各イベントの内容に応じて広報ターゲットを定めた上でイベントを展開

<b>項目</b>	<b>令和4年度イベント実施結果・課題</b>	<b>令和5年度実施方針</b>								
<b>イベント 企画</b>	<p>●<b>みんな芸フェスティバル（メインイベント）</b></p> <p>・若者向けアーティストの招聘により多くの若年層が新たにみんな芸を認知する機会となった。（来場者アンケートによるみんな芸の認知度：27%）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>出演者</td> <td>Tani Yuuki、大前光市、御所太鼓、スティーブエトウ等</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>●<b>ゴスペル&amp;ビッグバンドコンサート</b></p> <p>・滋慶学園の学生を中心とした音楽コンサート</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>曲目</td> <td>YMCA、情熱大陸等</td> </tr> </table> <p>・イベントの満足度が高い（96%）一方で、来場者数が少なかった。（305人）</p> <p>●<b>県民きらめきステージ</b></p> <p>・公募出演者約70団体によるステージを6日間にわたって商業施設で開催</p> <p>・来場者は多数（16,822人）だが、会場でイベントを知った人が多数（44%）</p> <p>●<b>児童養護施設向けワークショップ</b></p> <p>・県内の児童養護施設で生活する子どもたちが、芸術文化に触れる機会を持てるよう、楽器体験などワークショップを実施。</p> <p>・約100名が参加し好評であった。</p> <p>●<b>国際音楽交歓コンサート</b></p> <p>・R4年度から新たに実施した国際色豊かな一流アーティストによるコンサート。シニア層を中心に（平均65歳）多数の来場者（962人）を集めることができ、満足度は高かった。（94%）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>曲目</td> <td>G線上のアリア、カノン等</td> </tr> </table> <p>●<b>市町村連携事業</b></p> <p>・市町村と連携し、地域の特色を活かしたイベントを開催</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>連携市町</td> <td>天理市、三郷町、川西町、大淀町</td> </tr> </table>	出演者	Tani Yuuki、大前光市、御所太鼓、スティーブエトウ等	曲目	YMCA、情熱大陸等	曲目	G線上のアリア、カノン等	連携市町	天理市、三郷町、川西町、大淀町	<p>●<b>みんな芸フェスティバル（メインイベント）</b></p> <p>・引き続き、知名度あるアーティストを呼べるよう<b>フィナーレイベントと一本化</b>するとともに、「平城京天平祭・秋」と連携して平城宮跡歴史公園で実施</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  <div style="background-color: red; color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">NEW!!</div> </div> <p>●<b>ゴスペル&amp;ビッグバンドコンサート</b></p> <p>・来場割合の多かった<b>40-50代をターゲット</b>に据えた上で、チラシ作成・SNS等の広報を強化する。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>●<b>県民きらめきステージ</b></p> <p>・会場で当該イベントを知った方が多数いるため、みんな芸他のイベントを知っていただく機会と捉え、<b>当日に積極的に他のイベント広報を行っていく。</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>●<b>児童養護施設向けワークショップ</b></p> <p>・子どもたちが芸術文化に触れる機会を持てるよう、<b>継続して実施</b></p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>●<b>国際音楽交歓コンサート</b></p> <p>・引き続き、<b>シニア層をターゲット</b>にした広報を行い、継続してイベントを実施していく。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>●<b>市町村連携事業</b></p> <p>・「みんな」が参加し「たのしむ」ことができる形でより一層連携を強化するため、<b>動画配信・手話通訳等の配慮が必要な部分に係る費用負担を行う形</b>で連携を図る。</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  <div style="background-color: red; color: white; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">NEW!!</div> </div>
	出演者	Tani Yuuki、大前光市、御所太鼓、スティーブエトウ等								
曲目	YMCA、情熱大陸等									
曲目	G線上のアリア、カノン等									
連携市町	天理市、三郷町、川西町、大淀町									





項目	令和4年度イベント実施結果・課題					
<p>イベント 企画</p>	<p>●<b>まほろばあいのわコンサート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのある人もない人も含めた公募出演者約80名による音楽コンサート</li> <li>イベントの満足度が高い(96%)一方で、来場者数が少ない。(253人)※配信は1,414人</li> </ul>					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">曲目</td> <td>歌えバンバン、友だちはいいもんだ等</td> </tr> </table>	曲目	歌えバンバン、友だちはいいもんだ等			
	曲目	歌えバンバン、友だちはいいもんだ等				
	<p>●<b>ビッグ幡in東大寺、みんな芸ピアノ、プライベート美術館</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグ幡in東大寺は全国の障がいのある方から公募した作品を東大寺大仏殿前に展示</li> <li>みんな芸ピアノは、ビッグ幡で公募した作品をピアノにラッピングして県内各地へ設置</li> </ul>					
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">設置場所</td> <td>奈良公園バスターミナル、平城宮跡歴史公園、道の駅へぐり、東大寺、五條市役所</td> </tr> </table>	設置場所	奈良公園バスターミナル、平城宮跡歴史公園、道の駅へぐり、東大寺、五條市役所				
設置場所	奈良公園バスターミナル、平城宮跡歴史公園、道の駅へぐり、東大寺、五條市役所					
<ul style="list-style-type: none"> <li>プライベート美術館は県内の障がいのある人から公募した作品をまちなか・社寺などに展示</li> </ul>						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">設置場所</td> <td>なら歴史芸術文化村、近鉄奈良駅周辺店舗、県内社寺等</td> </tr> </table>	設置場所	なら歴史芸術文化村、近鉄奈良駅周辺店舗、県内社寺等				
設置場所	なら歴史芸術文化村、近鉄奈良駅周辺店舗、県内社寺等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグ幡in東大寺、みんな芸ピアノ、プライベート美術館を合わせて約15万人と多数の来場者数を誇るものの、会場でイベントを知った人が多い。(44%)</li> </ul>						
<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビッグ幡in東大寺 (92,016人)</td> <td>みんな芸ピアノ (35,793人)</td> <td>プライベート美術館 (18,350人)</td> </tr> </table>				ビッグ幡in東大寺 (92,016人)	みんな芸ピアノ (35,793人)	プライベート美術館 (18,350人)
						
ビッグ幡in東大寺 (92,016人)	みんな芸ピアノ (35,793人)	プライベート美術館 (18,350人)				
<p>●<b>ビッグ幡in東大寺原画展・バーチャル美術館</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原画展は実施費用の割に来場者数が少なく減少傾向にある。(575人(R3)→542人(R4))</li> <li>バーチャル美術館は現地訪問が難しい方にとっては好評であったが、使いやすさに改善の余地があった。</li> </ul>						
<table style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>						
						

令和5年度実施方針
<p>●<b>まほろばあいのわコンサート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの方に障がいのある方と一緒に芸術文化を楽しんでもらうため、ファミリー層をターゲットとしたイベントの企画・広報を行うことで来場者増加を目指す。</li> </ul>

<p style="text-align: center;"><b>NEW!!</b></p> <p>●<b>ビッグ幡in東大寺・薬師寺、みんな芸ピアノ、プライベート美術館</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会場で当該イベントを知った方が多数いるため、みんな芸の他のイベントを知っていただく機会と捉え、当日に積極的に他のイベント広報を行っていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグ幡in東大寺に加えて、新たに「ビッグ幡in薬師寺(仮称)」を実施。県内社寺との連携によりみんな芸全体の認知度向上につなげる。</li> </ul>
<p><b>NEW!!</b></p>
<p>●<b>「どこでもビッグ幡」(案)に一本化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグ幡に応募された全ての原画を手軽にどこにいても楽しめるよう、使いやすさ・見やすさを工夫してオンライン上で実施。</li> </ul>


	<b>令和4年度</b>
<b>全体</b>	県内芸術文化団体等と連携し多種多様なイベントを実施

<b>項目</b>	<b>令和4年度イベント実施結果・課題</b>		
<b>イベント 企画</b>	<p>●<b>ドライブインシアター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なら国際映画祭との連携等で多数の応募があった(1018台) 一方、会場の都合上、収容台数は限定的(当選138台)</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">上映作品</td> <td style="text-align: center;">シング(1日目)・ベイブ(2日目)</td> </tr> </table> 	上映作品	シング(1日目)・ベイブ(2日目)
	上映作品	シング(1日目)・ベイブ(2日目)	
<p>●<b>既存イベントの拡充</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな芸フェスティバルは、若者向けアーティストの招聘により多くの若年層が新たにみんな芸を認知する機会となった。(来場者アンケートによるみんな芸の認知度：27%)</li> </ul> <p style="text-align: right;">※再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際音楽交歓コンサート」において翌日に付帯事業(JR奈良駅前コンサート)を実施し、本コンサートを超える聴衆が観覧した(来場者数978人)となった。</li> </ul>			
	<p>●<b>その他各種イベント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JNO連携コンサート(来場者316人)、みんなで吹こう!にじいろ吹奏楽(来場者1,840人)など多くのイベントを実施した。</li> <li>・秋のイベント増加によって、県民だより等の無料広報を効果的に活用できず、認知度向上に結びつきにくかった。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>JNO連携コンサート</span> <span>みんなで吹こう!にじいろ吹奏楽</span> </p>		

<b>令和5年度</b>
【採択された場合】実施イベント数を絞り、広報費を拡大して実施

<b>令和5年度実施方針</b>
<p>●<b>ドライブインシアター等映画イベント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なら国際映画祭と連携して、会場の拡大等も視野に入れた形で映画イベントを実施する。</li> </ul> 
<p>●<b>既存イベントの拡充</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メインイベントであるみんな芸フェスティバルをより充実させる。 ※ステージ設置等</li> </ul> 
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際音楽交歓コンサートにおいて本年度実施し好評であった付帯事業の実施を検討する。</li> </ul> 
<p>●<b>奈良県美術展覧会の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県美術展覧会実行委員会と連携し、公募展では県内最大規模の奈良県美術展覧会を運営委託し実施する。</li> </ul> 
<p>●<b>広報費の拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報に注力し、SNS発信、WEBページの強化などにより芸術祭の認知度向上に結びつける。無料広報も効果的に活用する。</li> </ul>



	令和4年度	令和5年度
<b>ターゲット</b>	県民の方々を中心に幅広く広報を展開	各イベントの内容に応じてターゲットを定めた上で広報を展開
<b>項目</b>	<p><b>令和4年度広報実施結果・課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>様々な媒体を活用して広報を実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙媒体による広報（公式ガイドブック、チラシ等）</li> <li>デジタルによる広報（公式WEBサイト、YouTube、Twitter,Instagram,TikTok等SNS広報）</li> <li>SNS有料広告等の活用</li> <li>障がいのある方への情報保障</li> </ul> </li> <li>●<b>参加率の向上を目的とした広報</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録団体と一緒に「#みんな芸」をつけた情報発信</li> <li>一般の方も気軽に参加できるイベントとして「みんな芸 Instagramフォトコン」を開催→<b>合計43作品</b>の応募</li> <li>「一緒に」をキーワードに楽しみ方を提案</li> </ul> </li> <li>●<b>イベントの認知媒体</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民だより、チラシによる認知割合が高い。</li> <li>公式SNSによる認知は増加(R2から実施→<b>15%(R4)</b>)</li> <li>来場者の<b>7割が女性</b></li> </ul> </li> </ul> <p><b>【イベントの認知媒体】</b> ※ 来場者アンケートより</p>	<p><b>令和5年度実施方針</b></p> <p>昨年度実施した広報に加えて、以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>他イベントとの連携広報を実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>R5年度より通年開催となる<b>ムジークフェストなら2023とのガイドブックやポスター等において幅広く広報連携</b>を実施</li> <li>メインイベントである「みんな芸フェスティバル」を「平城京天平祭・秋」と連携実施するにあたって、広報（チラシ等）も共同で制作する。</li> </ul> </li> <li>●<b>参加率の向上を目的とした広報</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、登録団体と一緒に「#みんな芸」をつけた情報発信をすることで相互連携によるブランド力強化を図る。</li> <li>登録団体の<b>音楽イベントをムジークフェストなら2023の中で実施</b>することで、音楽の都を目指し取り組む奈良を強力に発信する。</li> <li>イベント毎に参加型企画（YouTubeライブ配信を活用した双方向参加型企画など）を実施する。</li> </ul> </li> <li>●<b>効果的な広報を展開</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知度が低い若い層をターゲットとし、<b>SNS等の特性を活かした広報</b>を展開することで、全世代の認知拡大（<b>LINEの運用</b>）</li> <li>イベント来場割合の高い<b>女性をターゲットに据えて展開</b>する。</li> </ul> </li> </ul>
<b>広報戦略</b>		